

当選してすぐ、議員会館の自分  
が使う事務所にある応接セットが  
気になった。見るからに「陳情の  
場」。お払い箱にして大きな木製  
テーブルを置いた。「みんなで作  
業する場にした」と。

ここにようやくやってくるのが社民  
党議員の中川智子さん(五)。同じ  
近畿比例選から出た「選友」だ。  
他の議員から一緒に食事の招待  
を受けたことがある。永田町のル  
ールでは、懸案を了承したこと、  
と後で教えられ苦笑いし合った。

そんな二人を「永田町の吉本コ  
ンビ」と呼ぶのが自民党幹事長の  
加藤紘一さん(五)。当選後、「市  
民活動促進法案」(NPO法案)  
の作成を任せられ、悩んで相談する  
と、「ほくほく法律、作ったことない  
んだ。あなたは幸せだよ」とあっ  
さり。一年生議員を相手に、気取  
る様子がなかった。市民型の自民  
党を目指す人。結局、自民党の中  
では法案の一番の理解者でした。

## 永田町に市民の風吹かせたい



平易な言葉で国政の動きを(大阪市内で)

他党議員らとの折衝は二百時間  
以上。市民運動の経験を様々な形  
で生かした反面、譲歩したところ  
もある。それを市民から批判され  
しむ仲間が増えてうれしい。まだ

まだ、できることがあるよ」と、  
同じ市民運動出身の民主党代表、  
菅直人さん(五)が言ってくれた。  
国会の議席は最前列。用意され  
た紙を読み上げるだけの議員が多  
い中で、自分の言葉で体当たりす

る厚生大臣小泉純一郎さん(五)の  
姿は評価できると思う。「本当は  
オペラが好きで穏やかな人」  
紺のスーツの「おじさんの森」  
では女性議員への偏見も。それを  
はね返すさきかけ座長室本睦子さ

ん(六)や自民党議員森山真弓さん  
(七)らは「パワフル」な先輩だ。  
テレビで見えなかった大物政  
治家と大阪弁で議論を交わし、ス  
ニーカーで赤じゅうたんを駆けぬ  
ぐり、丸一年。危なっかしいな  
と自分で思える余裕が出てきた。  
社民党幹事長伊藤茂さん(六)が最  
近、「クールな判断ができる。こ  
れまでになかったタイプ」と言っ  
てくれたと聞きうれしかった。

早大在学中に、若者の国  
際交流活動「ピースポート」  
を開始。昨年の総選挙で、  
社民党から近畿ブロック比  
例選に立ち初当選。